

4月度委員会報告

きずな委員会
 平成15年4月3日(木) 於：鳥取県立武道館 出席者/13名
 内容/4月担当例会打合せ・リハーサル

情報メディア委員会
 平成15年4月4日(金) 於：米子食品会館 出席者/7名
 内容/講師講演
 講師：(株)山陰ビデオシステム 代表取締役 高橋孝之氏
 ディスカッション

政治行政委員会
 平成15年4月15日(火) 於：いろは 出席者/10名
 内容/講師講演
 講師：境港市誠道地区自治会連合会会長 権田氏
 演題：境港市合併問題について

モラル委員会
 平成15年4月8日(火) 於：じごん東 出席者/11名
 内容/講師講演
 講師：潮 邦昭氏

演題：現代のモラルについて

国際交流委員会
 平成15年4月7日(月) 於：ホールサムインかいけ 出席者/12名
 内容/①5月担当例会打合せ
 ②会員拡大

経営委員会
 平成15年4月9日(水) 於：稲田屋 出席者/6名
 内容/①6月合同委員会の打合せ
 ②委員会のまとめについて

広報委員会
 平成15年4月9日(水) 於：稲田屋 出席者/10名
 内容/①ハンサム5月号担当割
 ②委員会報告・卒会寄稿文集成について

総務委員会
 平成15年4月15日(火) 於：米子食品会館 出席者/10名
 内容/例会の意識調査アンケートについて

コピーをして名簿にお貼り下さい

山口 英俊 A型
 株式会社 サンメディア
 ソフトウェア開発・インターネットプロバイダ
 〒683-0802 米子市東福原2丁目1番1号
 TEL 0859-34-2951 FAX 0859-33-2901

〈自宅〉西伯郡日吉津村富吉53-2
 〒689-3552 S38.6.24 TEL 0859-27-4978

〈コメント〉
 この度、入会させて頂きました、株式会社サンメディアの山口英俊と申します。中央会での活動を通じて多くの方々とお会いし、皆様がお持ちの豊富なノウハウを吸収し自己スキルアップしたいと思っております。また学んだことを活かし、多少なりともお返しが出来るように努力してまいります。皆様の足手まといにならぬよう一生懸命頑張りたいと思います。なにぶん未熟者でございますので、皆様のご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

カトリック堀江のペリカン通信

私事で恐縮ですが、私は少年の頃よりゲーマーでした。今尚現役です。当時よりゲームのテーマとして、映画またはテレビ作品をモチーフにしたものが多くあり、特にSFもの、アニメもの等はその主流をなしてきました。ところが最近ではこの逆パターン、すなわち「ゲームが映画になる。」ケースが大変目立ってきています。確かに最近のゲームは非常にストーリー性に富み、また映像・音声の飛躍的な向上も相まって、実際ゲームをプレイしながらもちょっとした映画を観ているような錯覚に陥ることもしばしば、「なるほど、本物のハリウッド映画になっても違和感ないはずだよなあ。」とつくづく感じます。ただそこは、逆パターンゆえのジレンマがゲーマーには存在したりもしまして、観ていて思わず、「バカ！そこはショットガン撃ちまくりだろ〜！」などとヒロインにかばちのひとつもたれてしまい、周りからヒンシュクを買ったりもする今日この頃なのです。



5月例会案内

とき 平成15年5月15日(木) 19:00~
 ところ 米子コンベンションセンター 小ホール
 講師 徳永法律事務所 司法書士 池田伸一氏
 演題 「企業誘致大国中国の現状」
 担当 国際交流委員会

5月役員会報告

役員会が平成15年5月1日(木)、米子食品会館に於いて開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 5月、6月例会開催の件
- (2) 理事、監事指名推薦の件
- (3) トライアスロンの件
- (4) その他

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門脇浩二 編集責任者 夏野慎介 印刷所 東京印刷株式会社

4月例会報告



平成15年4月17日(木)、鳥取県立武道館においてきずな委員会担当による4月例会が行われた。

まず冒頭より会長の挨拶の中で今回の県議会選挙について、我が西部青年中央会現役会員である湯原会員をはじめ、OBを含め4名全員の当選の報告があり、同時にメンバーの協力へのお礼を述べられた。この流れで選挙後半戦も皆さんの協力を頂きたい旨の発言により、中央会団結という気運は更に高まったことであろう。

新入会員の山口会員のバッチ授与に続き、トライアスロンタイムでは西部青年中央会とトライアスロンとの関わりを丁寧に説明され、経験のない新入会員にとっては関心の高まるものとなった。

今回の委員長タイムは2委員会であり、まず国際交流委員会の中本委員長は「物事は一瞬一瞬の積み重ね」「勝負とは自分に勝つこと」と、辞典を引用しながらスピーチされた。また情報メディア委員会の島山委員長の、情報ハイウェイを通じた地方行政と我々の生活についての発言があり、興味を持って聞く事が出来た。

続いて講演会として、「人間と環境のきずな」をテーマとして鳥取環境大学学長である加藤尚武先生をお迎えした。加藤先生は経歴もさる事ながら、テレビ等各マスコミ出演・講演会経験の多さから、「話し慣れ」という言葉がぴったりであるということが印象的であった。また大学教授ということもあり、ルソーをはじめアダムスミス、アリストテレスなどの名前が並び、大学時代の講義を思い出したのも事実であった。



循環型消費の合理性を、石油の枯渇問題や、フォードの大量生産技術と回転ずしの類似性などの話を絡めながら話された。また中学生による殺人事件を例に人間形成とは、

先天的要因・後天的要因・刷り込み要因の三要因からなるものとして、「きずな」とは0歳から3歳までの間につくられるとし、我々が忘れがちなきずな、つまり資源・未来・動物へのきずなを取り戻すには何より、「人の気持ちがかかる人間を育てる」ということが大切とのことであった。

その後の活発な質疑応答の後、講演会は終了した。

(松本 政彦)

What's中央会 第9回 ~全日本トライアスロン皆生大会と中央会~

「全日本トライアスロン皆生大会と中央会」

トライアスロンと言えば中央会と言われるほどその深い関係は現在では広く知られています。しかし、今ではボランティア支援がなせられるようになったのかを知る現役会員はほとんどおられないと思います。そこで今回は、本会と皆生大会が結びつくこととなった思い出話をご披露いたします。

話は第11期亀井会長時代までさかのぼります。この年第7回大会に現役2名OB1名の選手が本会から出場しておりました。「それじゃみんな応援してやろうやあ」と言うことになりマイクロバス(筆者が運転手)にビールとつまみを満載し応援と称して1日中選手について声援を送ったのです。選手が疾走するバイクコースを自転車にぴったりくっついてビール片手に「なんとお〜80キロもどーがなあ」なんて今では信じられない危険な応援行為を繰り返しておりました。マラソンコースに入ってから、当時のマリナーホテルA5でA5を勝手に仕切って(当時はA5には2、3人のボランティアしかいなかった)スイカや飲料物を選手に提供、中には女性選手だけにマッサージを始めるふとどき者もいました。こんな調子で一日大騒ぎして楽しんでメンバーから「来年はA5を一つ受けてみようや」と言うことになり正式に大会のボランティア団体として名を連ねることとなったのです。飲んだ勢いから始まった中央会ボランティア、宴席から始まったトライアスロン競技、共通していますね。でも、今考えるとあの自転車コースにマイクロバスで伴走・・・。

クレイジーとしか言いようのない行動ですね。そのバスの運転手は今年、皆生大会の副競技委員長、審判部長として大会に参加しております。

(野島 功)

トライアスロン通信

ボランティアとvolunteer



岩波書店国語辞典でボランティアを調べると①自分から進んで社会事業などに奉仕する人とあります。また、開隆堂ニュープリンス英和辞典でvolunteerを調べると①自分から進んで参加する人、有志、志願者②志願兵、義勇兵とあります。

同じように思えますが、多少意味に違いがあるように思えます。ボランティアといえば無償で行う奉仕活動だと思われている方も多いのではないのでしょうか。しかし、NPO関係の書物を見ると正当な対価を得ることのほうが当たり前のようです。

そうすると皆生トライアスロンの対価とはなんでしょうか。Tシャツと弁当だけではありません。自らの意思で参加することに對する充実感、そして感動があると思います。

貴重な自分の時間と体力を労費することに対して、進んで参加した者だけが味わえる受益者負担ではないのでしょうか。これは中央会の活動に対しても同じことが言えます。自分から進んで参加しなければ何も得られません。参加すれば何かがあります。

皆生トライアスロン(そしてSC鳥取)は、全国に鳥取の名を発信しています。地域発展のために、皆さんも自分の時間と体力を労費しましょう。

私も、「こんな奴でもボランティア部長ができるなら、誰にでもできる。俺にもできる。」と皆さんの参加意識が高揚されるようなボランティア部長を目指して労費いたします。

(ボランティア部長 夏野 慎介)

マラソン部の取り組み



皆生トライアスロン協会の事務所開きも4月18日に終え、マラソン部も本格的作業に向けて4月22日に全体部会を開催した。12月から活動していたコース設定も3月に部員が決定した事で活動範囲が広がって、県土木、米子市、境港市、エイド地権者等の挨拶を終え微調整は継続するもの難関をほぼクリアしたと言える。今年も昨年と同じコースで運営することになり、経験と反省を十分に生かせるようになったと思う。特に私が若輩者ということもあり、メンバーに心配をお掛けするところもあるせいか、かなり助けて頂いてマラソン部自体の作業内容としては順調に進んでいる。合わせて、ボランティア部との連携も同じ青年中央会から委嘱を受けているという根本的な事を念頭に置きながら、実質的な思いを共有することが、出来ていると思う。しかし、競技委員会では、例年通信部にボランティア頂いている人員がかなりの状態で減少する事になりそうだという問題もある。この事で、マラソンコースの運営にも影響が出てくるため、レース前後のよりスムーズな運営とレース中のエイドステーションとの連絡についての検討と実行が必要になると思われる。

いずれにせよ、残り3ヶ月足らずに集約された活動を身のあるものにするために、多少の苦勞は、必要だと考えます。ぜひ一緒に草刈をしたいと思われる方をお待ちしております。終わった後のビールは、嘘のように美味いです。

(マラソン部長 増井 幸一)

今の意気込み



昨年のトライアスロン実行委員会事務局に引き続き、本年は団体ボランティア部をお世話させていただくことになりました中本高夫でございます。

夏といえば、皆生トライアスロン。西部青年中央会が一丸となって、勇気と情熱をもって、立ち向かっていく夏最大のイベントです。

マラソン部、ボランティア部、団体ボランティア部と青年中央会の会員が各部それぞれ別れるものの、それは一つの目的を達成するための手段であります。その目的とは、云うまでもなく皆生トライアスロンを成功に導くことだと思えます。

また、そのことは、青年中央会会員一人一人の絆がより一層強固なものになることだと確信しております。

青年という称号を与えられた我々だからこそ、成し遂げられる大事業だと自負しております。

私の担当する団体ボランティア部も、優秀な会員のもと、与えられた任務を主体的に、楽しく、遂行していきたいと思えます。

最後になりましたが、オール青年中央会が力を結集していただきますと共に、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

カムサハムニダ

(団体ボランティア部長 中本 高夫)

青年中央会的 春の統一地方選挙



この度の県議会議員選挙におきまして、青年中央会現役員及びOB会員の皆様方から、大変なご支援を賜り当選をさせて頂きました。心より感謝を申し上げます、有難うございました。また、中央会の先輩である松田一三氏、石黒豊氏、齊木正一氏と御一緒できるのも喜ばしい事と存じます。

さて、現在国・県・市町村ともご案内のとおり大変な危機的状況を迎えております。一つには財政状況があり、また経済・社会状況も大変な時代であり、議会の役割、政治の役割が今までと違います重要になり、政治の選択如何で次世代の社会が変わっていきます。

今求められている政治とは、特定の仕事上の付き合いや支援する組織団体への口ききの恩返し政治ではなく、あくまで納税者である住民や次世代のためといった公の利益を求める政治であると私は考えます。

こうした中において納税者であり次世代に責任のある有権者・住民の方の政治への関心が必要であり、選挙の時だけでなく政治家の普段の議員活動へのチェックと住民の方自らのまちづくりへの参画が必要であります。

今後とも鳥取県発展のため、諸先輩方を含め皆様方の声のパイプ役として政治活動をして参りますし、また中央会現役会員の若い方の政治の場への参画を期待致します。

(湯原 俊二)



ハンサムの記事が編集される時期、今、まさに米子市議会議員選挙の告示が目前と迫っており、私、岩崎康朗、新人で立候補を予定しています。良いも悪いも有権者の皆様にきちんと評価して頂く前の今の気持ちを素直に申し上げたいと思います。

私が米子市議会議員に立候補しようと思った理由は「皆生温泉の集客が前年対比約3割落ちになっており、このままでは本当に大変な事態になってしまう。私達、若い力で何とか出来ないか?我々若手経営者が本気になって観光振興を考え、実行出来ないか?その為には誰かが行政のパイプ役にならなければ話にならない。」との思いで決断しました。その日から4ヶ月間、妻と二人で朝に昼にそして夕方に一軒一軒、ゼンリンを片手に挨拶廻りを行いました。今から思えば、雪の日も雨の日も二人で歩いた事は、今後の糧になり、本当に良い勉強になりました。

西部青年中央会ではOBで先輩議員も多数おられますし、現役では湯原議員が鳥取県議会議員ですので、私も真先に先輩のお考えや、選挙の取り組み勇氣ある姿勢等、いろいろ教えていただき大変参考になりました。

今、まさに地方分権の時代です。本当の意味で議員の資質が問われております。

自らを積み、公僕として常に有権者の皆様の日線で物事を考える議員を目指します。

最後に今まで叱咤激励して下さいました、西部青年中央会の皆様、本当に有難う御座いました。残り少ない期間、全力で選挙戦終盤を戦います。どうぞ最後までよろしくお願い致します。

(岩崎 康朗)

サッカー同好会

冬眠からさめる?



サッカー同好会、正式には「サッカーを楽しむ会」と言う名称で発足したこの同好会は6月で丸3年を迎える。

きっかけは、至って簡単。商工会青年部並びに米子青年会議所と我が青年中央会の3団体でサッカーをしようというものであった。言うなれば「挑戦状」である。直ちにメンバーを集めるべく例会会場にて声がけをしたところ、2002ワールドカップ前ということも手伝って、経験者、未経験者合わせて20数名のリストがあがった。現副会長である夏野会員に、米信のユニフォームを拝借し格好だけはきまっていたが、結果は惨敗であった。

この年の11月に青経連4団体でフットサルが行われた。試合数日前には練習と言うものを始めて行い本番では米子青年会議所相手に見事初勝利を飾った。

発足1年目の夏、商工会議所青年部から声が掛かった。「SC鳥取の前座をやらうや。」それもバードスタジアムである。

この話に皆「気分はワールドカップ」である。バスは野嶋会員に格安で出して頂き、堀田終身監督の計らいでセリエAバリの、素晴らしいユニフォームも買い揃えた。結果は奇跡の勝利であった事は2年前のハンサムにも掲載されている。

その後、元旦初蹴りも行ったが、それ以降1年4ヶ月の間活動休止状態で現在に至る。これからの活動方針としてはフットサルが中心になるのではないと思われる。最近では、米子にもフットサル人口が増えリーグ戦も行われているとの事も小耳にはさんだ。近いうちに参戦したいと考えている。

昨年度直前会長に付けて頂いた予算も手付かずのまま残っていると思われるが、それは今後の活動費として有効に使わせて頂き、青年中央会をもっとPRし、尚且つ皆が楽しめる同好会活動が出来ればと思うのである

(夏山 裕一)

祝 県議・市議・町議選ご当選

石黒 豊	OB	中村昌哲	OB
松田一三	OB	山形周弘	OB
齊木正一	OB	藤尾信之	OB
湯原俊二		岩崎康朗	

若林尚允 OB

日頃は主人が大変お世話になっております。

不安とどまどいの中で始まってから、早や4ヶ月。毎日をおしゃらに過ぎてきたような気がいたします。その中で、本当にたくさんの方々に支えられ、励まされ、叱られ、いろいろなことを勉強させていただく事ができました。改めて、皆様の暖かい、そして力強い叱咤激励に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。いよいよスタートラインに立つ日が参りましたが、無事スタートを切ることができましたら、またひとつひとつ目標に向かって全力で進んでまいりたいと思えます。いままで以上に皆様のお力をお借りする事になりますが、どうぞ、主人とともにご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(岩崎 雅代)